



プレスリリース

令和6年度草の根・人間の安全保障無償資金協力：

タシール市上水道インフラ復旧・強化計画 供与式の実施

エレバン：令和8年3月11日

令和8年3月11日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「タシール市上水道インフラ復旧・強化計画」（供与限度額：72,844米ドル）の供与式が、タシール市庁舎（ロリ州）で開催されました。本式典には、青木豊駐アルメニア日本国大使、エドガー・アルシャキャン・タシール市長、ノライル・バグダサリャン・タシール副市長のほか、行政関係者やタシール市の住民が参加しました。

本事業は、既存の上水道（15km）を改修・強化し、タシール市内11村への安定的な飲料水の供給を確保することで、ナゴルノ・カラバフからの避難民約700人を含む約12,300人の住民の生活環境を改善するものです。同市では、水源であるホヴダラ川上流において送水管が激しく損傷しており、下流に位置する各村への給水量が限定的となっていたほか、数日間にわたる断水も頻発していました。また、住民の多くは貯水槽等の自家設備を持たず、市販の飲料水に頼らざるを得ない状況にあったことから、経済的負担の軽減が急務となっていました。

アルシャキャン市長は、「上水道の整備により、長年にわたり水不足に苦しんできた村々の住民が安定した飲料水を得られるようになりました。タシール市は今後しっかりとメンテナンスを実施して住民の生活の基盤を守り、日本の支援を次の世代に伝えていきます」と謝意を述べました。また、青木大使は、「上水道の改修により多くの住民にきれいな飲料水が届き、個人で水を購入しなければならない負担を軽減できて大変嬉しく思います。本事業が、日本とアルメニアの友好関係をさらに深める一助となることを願っています」と祝辞を述べました。



祝辞を述べる青木大使



謝辞を述べるアルシャキャン市長



本事業関係者との記念撮影



絵と桜のオブジェで歓迎を受ける
青木大使